

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公開番号】特開2014-223285(P2014-223285A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2014-82711(P2014-82711)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月9日(2014.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域内に配置され遊技媒体を常時受け入れ可能な通常始動口と、前記通常始動口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う抽選手段とを備え、前記抽選手段による抽選にて大当たりが得られた場合は遊技者に利益を付与可能な遊技機において、

前記通常始動口とは別に、特定可動片が動作したときに遊技媒体が受け入れ容易とされる可変始動口が設けられてなり、

前記可変始動口への遊技媒体の受け入れが相対的に困難とされる通常状態にあるとき、この通常状態よりも前記可変始動口への遊技媒体の受け入れが相対的に容易とされるよう前記特定可動片の動作にかかる制御態様が変更される有利状態への制御を実行可能とする受入条件変更手段と、

前記抽選手段による抽選にて大当たりが得られる確率を相対的に低く設定した低確率状態にあるとき、この低確率状態よりも大当たりが得られる確率を高く設定した高確率状態への制御を実行可能とする確率変更手段と、

遊技者に利益を付与するための動作として、所定の可動体の作動によって遊技媒体の受け入れが容易化される球入賞手段と、

前記低確率状態且つ前記通常状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大当たりが第1の大当たりである場合、前記可動体の作動による前記球入賞手段での遊技媒体の受け入れの容易化により多量の賞が獲得可能とされる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御との両方をそれぞれ提供する第1利益付与手段と、

前記低確率状態且つ前記通常状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大当たりが第2の大当たりである場合、前記球入賞手段にて前記可動体を作動させるにもかかわらず、前記第1利益付与手段の場合よりも少ない賞しか獲得可能とされないように前記可動体を作動させる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御との両方をそれぞれ提供する第2利益付与手段と、

前記低確率状態且つ前記通常状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大

当たりが第3の大当たりである場合、前記球入賞手段にて前記可動体を作動させるにもかかわらず、前記第1利益付与手段の場合よりも少ない賞しか獲得可能とされないように前記可動体を作動させる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御とのうち、前記高確率状態への制御のみを提供する第3利益付与手段と

を備え、

前記第3利益付与手段は、

前記確率変更手段による前記高確率状態への制御および前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御の少なくとも一方が行われている状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大当たりが第3の大当たりである場合、前記第1利益付与手段の場合よりも少ない賞しか獲得可能とされないように前記可動体を作動させる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御との両方をそれぞれ提供する条件付利益付与手段

を有しており、

前記抽選手段による抽選にて大当たりが得られたときに該大当たりが前記第2の大当たりとされる割合よりも前記第3の大当たりとされる割合のほうが高く、且つ前記抽選手段による抽選にて大当たりが得られたときに該大当たりが前記第3の大当たりとされる割合よりも前記第1の大当たりとされる割合のほうが高くなるように設定されてなる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記可変始動口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う可変側抽選手段をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記受入条件変更手段は、

前記有利状態においては、前記通常状態よりも前記特定可動片の動作頻度を高くすることによって前記可変始動口への遊技媒体の受け入れを相対的に容易とさせる

請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：「遊技領域内に配置され遊技媒体を常時受け入れ可能な通常始動口と、

前記通常始動口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う抽選手段とを備え、前記抽選手段による抽選にて大当たりが得られた場合は遊技者に利益を付与可能な遊技機において、

前記通常始動口とは別に、特定可動片が動作したときに遊技媒体が受け入れ容易とされる可変始動口が設けられてなり、

前記可変始動口への遊技媒体の受け入れが相対的に困難とされる通常状態にあるとき、この通常状態よりも前記可変始動口への遊技媒体の受け入れが相対的に容易とされるよう前記特定可動片の動作にかかる制御態様が変更される有利状態への制御を実行可能とする受入条件変更手段と、

前記抽選手段による抽選にて大当たりが得られる確率を相対的に低く設定した低確率状態にあるとき、この低確率状態よりも大当たりが得られる確率を高く設定した高確率状態への制御を実行可能とする確率変更手段と、

遊技者に利益を付与するための動作として、所定の可動体の作動によって遊技媒体の受け入れが容易化される球入賞手段と、

前記低確率状態且つ前記通常状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大

当りが第1の大当りである場合、前記可動体の作動による前記球入賞手段での遊技媒体の受け入れの容易化により多量の賞が獲得可能とされる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御との両方をそれぞれ提供する第1利益付与手段と、

前記低確率状態且つ前記通常状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大当りが第2の大当りである場合、前記球入賞手段にて前記可動体を作動させるにもかかわらず、前記第1利益付与手段の場合よりも少ない賞しか獲得可能とされないように前記可動体を作動させる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御との両方をそれぞれ提供する第2利益付与手段と、

前記低確率状態且つ前記通常状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大当りが第3の大当りである場合、前記球入賞手段にて前記可動体を作動させるにもかかわらず、前記第1利益付与手段の場合よりも少ない賞しか獲得可能とされないように前記可動体を作動させる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御とのうち、前記高確率状態への制御のみを提供する第3利益付与手段と

を備え、

前記第3利益付与手段は、

前記確率変更手段による前記高確率状態への制御および前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御の少なくとも一方が行われている状態にあるときの前記抽選手段による抽選にて得られた大当りが第3の大当りである場合、前記第1利益付与手段の場合よりも少ない賞しか獲得可能とされないように前記可動体を作動させる制御を実行したのちに、前記確率変更手段による前記高確率状態への制御と、前記受入条件変更手段による前記有利状態への制御との両方をそれぞれ提供する条件付利益付与手段

を有しており、

前記抽選手段による抽選にて大当りが得られたときに該大当りが前記第2の大当りとされる割合よりも前記第3の大当りとされる割合のほうが高く、且つ前記抽選手段による抽選にて大当りが得られたときに該大当りが前記第3の大当りとされる割合よりも前記第1の大当りとされる割合のほうが高くなるように設定されてなる」ことを特徴とする遊技機。